



第 79 卷 総 目 次

1996(平成8)年

【論 說】

日清戦後の地方制度改革……………	飯塚 一幸……………(一)
明末、地方官の人事異動と地方輿論……………	車 惠媛……………(三二)
一一—一三世紀のハラブにおけるウラマー三家系……………	谷 口 淳一……………(六一)
『商君書』の歴史的位階……………	柴 田 昇……………(九五)
元首政期ローマ帝国における近衛長官職の確立……………	桑 山 由文……………(一五七)
中世スウェーデンにおける代表制集会和農民……………	根 本 聡……………(一九二)
東亞青年連盟(アシャルリーグ)の成長とビルマ独立への影響……………	武 島 良成……………(二二七)
中国トロッキー派の生成、動態、及びその主張……………	菊 池 一隆……………(二五八)
一四世紀末—一六世紀初頭エジプトの大カーディーとその有力家系……………	伊 藤 隆 郎……………(三二五)
清代後期直隸・山東における差徭と陋規……………	山 本 進……………(三六〇)
戦間期における採炭機構の合理化と労働指揮権……………	鮎 川 伸 夫……………(三九一)
律令国家陵墓制度の基礎的研究……………	北 川 康 宏……………(四八一)
社会大衆党の国家社会主義と国際政策……………	及 川 英 二郎……………(五二六)
仁和寺御室考……………	横 内 裕 人……………(五五九)
ソロン、詩と政治……………	芝 川 治……………(五九四)
有孔玉、石斧をめぐって……………	林 巳 奈 夫……………(六五一)
畿内と古代国家……………	吉 川 聡……………(六九三)

居延漢簡劾狀關係冊書の復元……………	鷹取祐司…五(七二八)
九世紀前半ビザンツにおける皇帝権力……………	小林功…五(七六五)
神功皇后伝説と近世日本の朝鮮観……………	塚本明…六(八一九)
漢代察舉制度の位置……………	佐藤達郎…六(八五二)
版籍奉還前後の朝鮮政策と外務省(佐田)調査団の朝鮮派遣……………	沈箕載…六(八八一)
武周時期の御史台について……………	胡宝華…六(九一三)

【研究ノート】

清末における相続問題について……………	西川真子…一(一二四)
長門国府周辺施設の歴史地理学的考察……………	門井直哉…二(二九二)
中世聖教史料論の試み……………	上川通夫…三(四二二)
古代蜀國史研究の新視点……………	徐崎朝龍…三(四四四)
インノケンティウス四世における教皇権……………	尾崎秀夫…六(九四七)

【研究動向】

第一回十字軍召集の研究史的考察……………	八塚春児…四(六一八)
----------------------	-------------

【書評】

田中英英著『平氏政権の研究』……………	元木泰雄…一(一四三)
神野清一著『日本古代奴婢の研究』……………	吉野秋二…三(四六三)
松田利彦著『戦前期の在日朝鮮人と参政権』……………	外村大…三(四七〇)

東 普次著『後漢時代の政治と社会』……………小川 由 記…四 (六三六)

若尾祐司著『近代ドイツの結婚と家族』……………姫 岡 とし 子…五 (七九九)

川口 博著『身分制国家とネーデルランドの反乱』……………椛 田 美 津 夫…五 (八〇五)

高橋秀直著『日清戦争への道』……………伊 藤 之 雄…六 (九六九)

星野秀利著、齊藤寛海訳『中世後期フィレンツェ毛織物工業史』……………高 田 京 比 子…六 (九七七)

【紹介】

日本国際地図学会編『日本主要地図集成——明治から現代まで』……………船 越 昭 生…一 (一五〇)

【計報】

水津一朗先生を偲ぶ……………五 (八一二)

【会告】

平成七年度史学研究会大会・総会の報告……………二 (三〇七)

理事会・評議会報告……………四 (六四四)

史学研究会役員……………四 (六四五)